

一般財団法人 ACCN

活動指針

2019年4月

I ACCNの基本方針

我が国におけるキャリアコンサルティングの普及、キャリアコンサルタントの活用の多くは国策に端を発し、施策実行に知恵と努力を絞った先人たちの取り組みによって今日に至っています。その中で、大学等におけるキャリアコンサルタントの普及を一例に取ると、平成18年に立教大学等で行われた就職未内定の4年生に対してキャリアコンサルティングを試行実施するキャリアコンサルティング研究会の取り組みがあり、そこにおいて僅か4カ月程のキャリアコンサルタントの働きかけの結果60%を超える学生が卒業までに内定を得たといった成功事例があり、それまでキャリアコンサルタントに懐疑的であった大学関係者の評価が大きく変わり、その後一気に大学等へのキャリアコンサルタントの普及が進みました。勿論、試行実施だけが結果を生み出した要素ではないでしょうし、その後の文部科学省の方針の影響も大きいのは事実ですが、一つだけ明確なのは、「成果・結果」を得て、キャリアコンサルタントが評価され、普及して行ったことは間違いのない事実です。ACCNは職能団体として発足し、どのようなスタンスで、何を志すのか。

これからのACCNの活動・事業計画を策定するにあたり、そのスタンスや活動への思いを以下の様に整理いたしました。

(1) ACCNとは

ACCNは、定款において団体の目的として以下の様に定義しています。

「当法人は、キャリアコンサルタントの品位と資質を高め、実践の場を拡大することによってキャリアコンサルタントの社会的価値をより確かなものとし、人々が学びあう社会の実現に寄与することを目的とする」この定義を端的に表現するものとして、以下のキーコンセプトを採択いたしました。

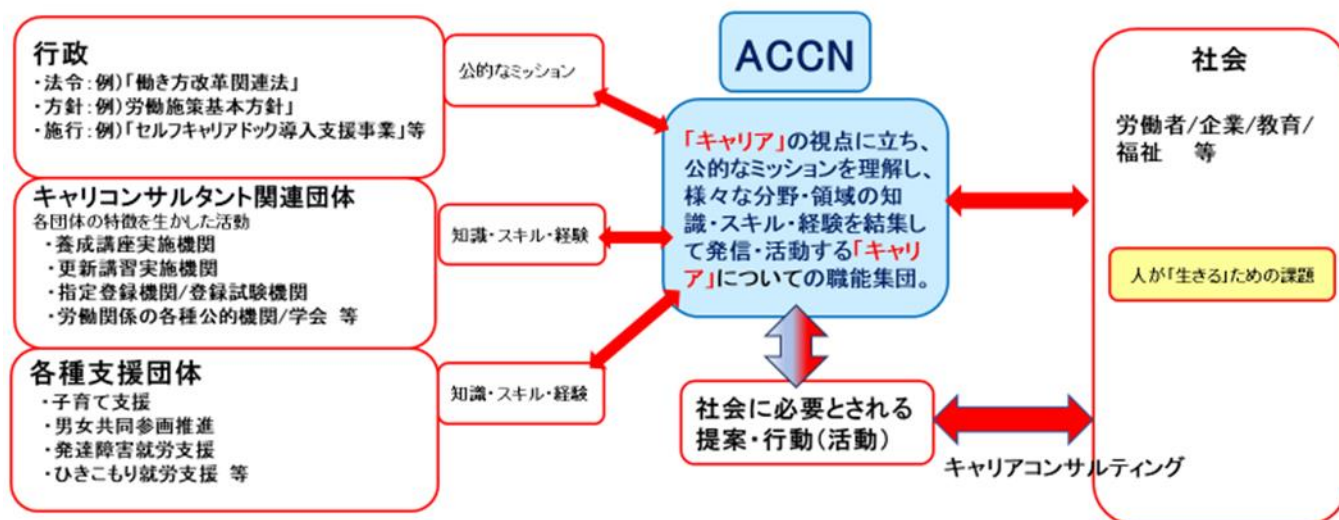
みんなの「生きる」をキャリアでつなぐ。ACCN

(2) ACCNの社会的な役割とは

このキーコンセプトのもと、ACCNの社会的な役割は、「キャリア」の視点から公的なミッションやステークホルダー（「行政や施策」、「キャリアコンサルタント関係団体」、「隣接する支援機関」、「キャリアコンサルタント」、「各領域で働く人々」）とつながり、過去から未来に通じた実践と経験に基づく知識やスキルを共有、蓄積すると共に、社会に必要とされる更なる実践活動と社会への発信・提言を行なっていくキャリアコンサルタントの職能集団、として活動を行ってまいります。

ACCNの役割

みんなの「生きる」のをキャリアでつなぐ。ACCN



(3) ACCN の志

ACCN の活動を支える志としては以下の3つだと考えています。

1. 日本版プロティアンキャリア意識啓発

すべての人が、自らのキャリアに対する意識と責任を持ち、主体的なキャリア形成やキャリア・プランニング/キャリア・デザインに取り組む必要性を理解し、行動する意識を啓発することが必要です。

2. キャリアコンサルタントの領域別専門性確立

すべての人が、イキイキと活躍し自己実現に近づくためには、当然に個人が具体的なキャリア・ビジョンを持つことと、学齢期で言えばキャリア教育で育む目標とされる各種能力の涵養、社会人でいえば社会人基礎力やエンプロイアビリティ、職業ごとに異なる専門能力などを高めることが求められます。

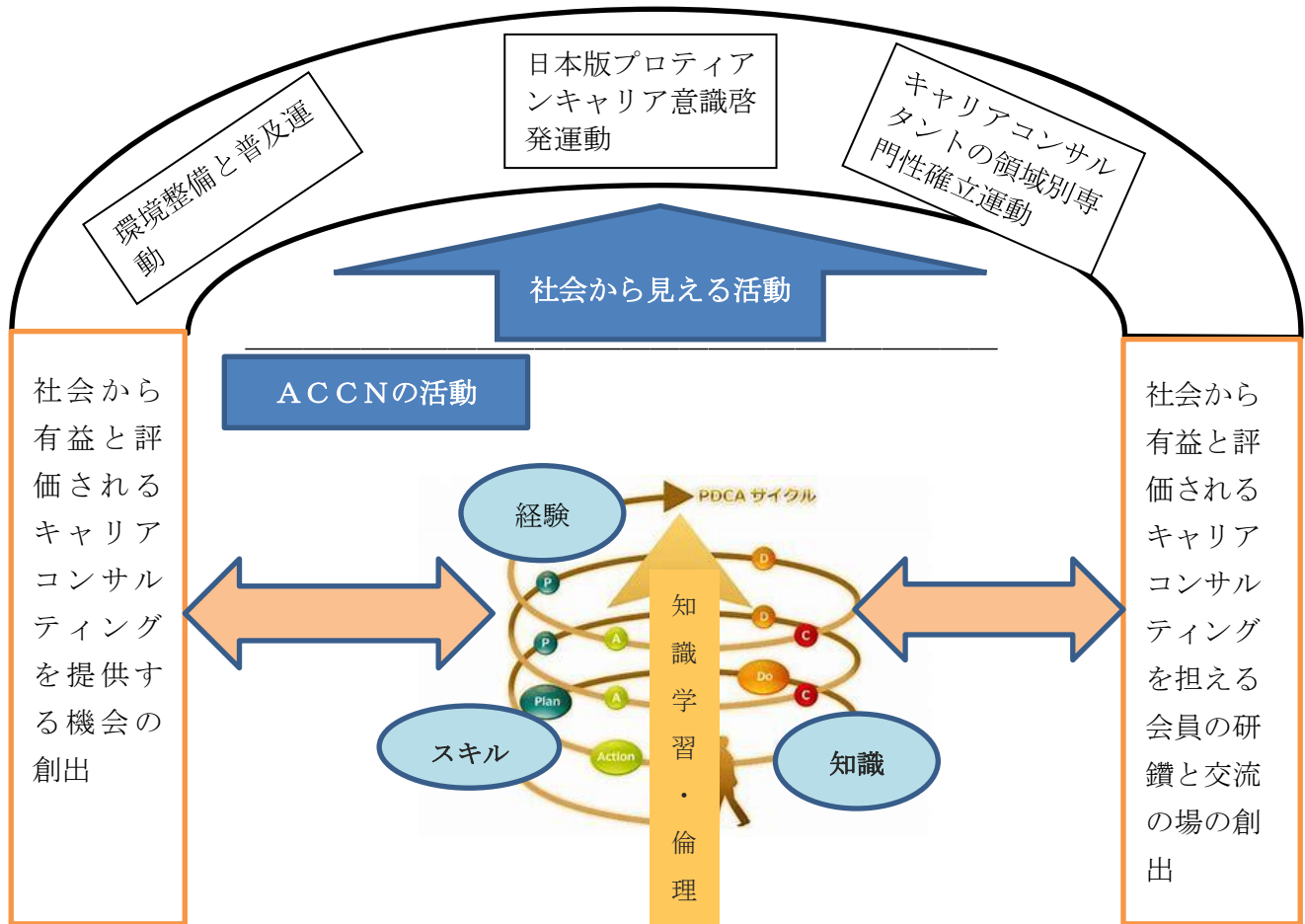
キャリア教育は生涯にわたりますが、学齢期には学校を中心に育まれるものであり、職業能力は職場を中心に育まれるものです、さらに様々な対象者、領域ごとに、必要な助言、情報提供、ガイダンスの企画・運営や環境への働きかけを遂行できる能力には当然に差があります。キャリアコンサルタント領域・対象別の専門家としての実践・実務能力を高めることで、日本人の働く力や新たな財・サービスを生み出す力、生きる力を高める活動、即ち評価されるキャリアコンサルティングが提供できると考えます。

3. 環境整備と普及

過去のキャリア・マトリックス、OHBYや私のしごと館、JOBJOB ワールドなど、過去の優れた制度やシステム、ツールなど、普及・活用が不十分であったために事業仕分けの対象とされてしまったり、存続できなくなった「環境」がありました。キャリアコンサルタントは、そうしたツール、システム、制度等をしっかりと把握し、活用し一般市民に普及させる役割を果たさなくてはなりません。さらに、必要な環境を我々自らの創意工夫で産み出すことを志し、場合によっては、企業や経済団体、行政に対して必要な制度やシステムの開発を働きかけられるような、組織としての力を持つことも必要です。そのためには、会員数の

多さは勿論、社会に有益なキャリアコンサルティングを提供するために切磋琢磨している主体的な会員で成り立つ組織であることが肝心です。

コンセプトモデル



ACCNの全ての活動は、社会から有益と評価されるキャリアコンサルティングを提供する機会の創出、それを担える会員の研鑽と交流の場の創出を2本柱とし、その2本柱の上に3つの行動が遂行されていくものと考えます。

そして、知識学習で得た専門家としての知見・スキルを核としつつ、実践（アウトプット）する能動的な集団でありたいと思います。

上記のような活動への志を端的に表現するものとして、以下の「ACCN に込められた思い」を採択いたしました。

ACCN (All Career Consultant Network) に込められた思い

A : all people

全ての人々が自らキャリアを考え生きる社会を作る

C : career development support

生涯にわたるキャリア発達を支援する

C : career maturity、change agent

キャリアコンサルタント自身がキャリア成熟・成長する

N : networking

全てのキャリアコンサルタントがつながり、社会ともつながるネットワークを作る